

患者の主観的評価に基づく医療 QOL 評価の新しい実践

医療の目的は患者のQOL(Quality of Life:生活の質)の向上です。QOLの測定法は数々ありますが、客観的な視点で一元化する方法を、緩和ケアや難病ケア領域など治癒を目標とできない領域に適用すると、時として「死」よりも低い評価値がでて、ケアの視点を失うだけでなく、医療の配分の視点で切り捨てられる危険をはらんでいます。患者の主観的QOL評価法としての「SEIQoL」は、アイルランドで開発されましたが、代表的な患者の報告するアウトカム（PRO: Patient reported outcome）とされ、臨床研究に多く使われています。人は状況の変化に応じて生活の中で大切に考える事柄やその優先順位を変化させ評価を変えています。それをとらえることで、真の緩和ケアの実践を可能にします。

この「SEIQoL」を理解し、ipodを用いた最新システムで体験するセミナーを開催します。今回の会は、医療、介護のスタッフのみならず、患者さん・ご家族の参加も有意義になるものと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 **2017.9.23 (土) 12:30~16:30**

場所 **公財) 東京都医学総合研究所 講堂** 東京都世田谷区上北沢 2-1-6
※会場が変更になりました。ご注意ください

講師 **中島 孝 (国立病院機構新潟病院院長)**

木がナイター **井手口 直子 (帝京平成大学薬学部)**

中山 優季 (東京都医学総合研究所難病ケア看護プロジェクト)

対象 **難病ケア、緩和ケアに関心がある医療職・介護職・患者・家族・関係者・ボランティア**

定員 **先着 50名**

参加費 **無料**

プログラム

- 現代における喪失のケアと緩和ケア、難病ケア
- QOLとは何か：ケアを改善するためにQOLの誤解を解きどのように理解するとよいか？
- 特別レクチャー：Decision Regret ScaleとSEIQoL（丹野清美先生,立教大学）
- 実践演習：SEIQoLにおける面接の基本とSEIQoLにおけるCueの抽出の説明
 - ロールプレイ法によるSEIQoLのCue抽出（ステップ1）
 - ロールプレイ法によるCueのレベルの決定（ステップ2）
 - SEIQoLにおけるCueのWeightの推定（ステップ3）
 - SEIQoLのデータ入力と解析・評価
- 総合討論

◆ お申し込み・お問い合わせ ◆

医学研中山 優季まで、**申込期限：平成29年9月15日(金)**

裏面の申込用紙にご記入のうえFAX/Emailにてお申し込みください。

nakayama-yk@igakuken.or.jp

(FAX) 03-6834-2291 (医学研難病ケア看護プロジェクト)

申込期限：平成 29 年 9 月 15 日（金）

FAX 03-6834-2291 (直通) or

Email nakayama-yk@igakuken.or.jp

宛先 患者主体のQOL評価法を学び活かす実習セミナー担当 中山 行き

< 申込用紙 >

申込日：平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏 名： _____

住 所： _____

所属機関： _____

F A X： _____

E-mail アドレス： _____

職種・参加者プロフィール： _____

(例. 看護師、理学療法士、難病ケア支援者、介護職、患者、家族、研究班関係者、ボランティア etc.)

以下は、研修会での参考にさせていただきますので、差し支えない範囲でお答えください。

①「SEIQoL-DW」を実施した経験はありますか。 いいえ・ はい (→ 回位実施)
「はい」とご回答くださった方に伺います。

②「SEIQoL-DW」実施対象者の病名を教えてください。

[_____] [_____] [_____]

③「SEIQoL-DW」を実施した感想を教えてください。

1. とても簡単 2. まあ簡単 3. ふつう 4. すこし難しい 5. 難しい

④「SEIQoL-DW」を実施するにあたり、どういうことが難しいと思いましたか。

[_____]

⑤ 全員に伺います。セミナーに期待することをご記入ください

[_____]

以上